

10月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに「龍ヶ崎産業祭いがっぺ市・ご当地コロッケ横丁」に関する情報提供です。

11月23日(木曜日)に開催いたします「龍ヶ崎産業祭いがっぺ市・ご当地コロッケ横丁」の開催についての情報です。

こちらは、商店街通りで開催しておりました「商業祭りがっぺ市」をリニューアルし、市役所駐車場を会場に4年ぶりに開催するものです。

当日は、市内企業や商工会各部会による事業PRや体験コーナーのほか、商店会や観光物産協会加盟店による飲食物、物産品の販売もあります。

また、ご当地コロッケ横丁では、コロッケクラブ龍ヶ崎加盟店をはじめ、全国コロッケフェスティバルにも参加されております大洗町の「ずわいがにたっぷりコロッケ」や和歌山県日高町「さばコロッケ」、神奈川県^{まなづるまち}真鶴町の「いか爆弾コロッケ」、福島県田村市「きむコロッケ」など、合計13店舗のコロッケ店が出店いたします。食欲の秋でもありますので、ぜひ、お誘い合わせの上、ご来場いただき、イベントをお楽しみください。

なお、当日はコミュニティバスの全便全ルートの運賃を終日無料とするとともに、流通経済大学に臨時駐車場を設け、関東鉄道竜ヶ崎駅、市役所を巡回する無料送迎バスを運行します。ご来場いただく皆さまには、周辺道路の渋滞緩和のためにも公共交通機関のご利用をお願いいたします。

次に「農業公園豊作村「湯ったり館」の休館」に関する情報提供です。

「湯ったり館」は、市民の農業への理解促進と、都市と農村の交流を目的に設置した農業公園豊作村を構成する一施設として、平成12年4月にオープンしました。

最盛期には年間25万人を超える利用者がありましたが、価値観・ライフスタイ

ルの多様化により、多種多様な余暇の過ごし方が求められるようになるに連れ、利用者数は減少傾向に転じ、市負担額は膨らみ続けていました。

近年では、施設の老朽化による工事・修繕費用の増加や新型コロナウイルス感染症の影響下にありましたが、ごみ処理施設建設に伴う地元への還元施設であることも考慮し、収支改善に取り組みながら運営を続けてまいりました。

しかしながら、昨今の世界情勢の変化を受けた燃油価格・原材料費の高騰や人件費の上昇などの影響は大きく、今後の収支改善を見通すことは難しい状況となっています。

本市では、このような現状を踏まえ、農業への理解を促進し、にぎわいを創出する農業公園豊作村全体としての運営を目指して、今後の施設のあり方と事業運営について見直すこととし、現在の指定管理者との協定に基づく指定管理期間の満了、令和6年3月31日をもって休館とさせていただくことといたしましたので、お知らせいたします。

また、この今後の農業公園豊作村の利活用に関して、サウンディング型市場調査の実施を予定しておりますので、併せてお知らせいたします。